

人口減少時代の政策決定

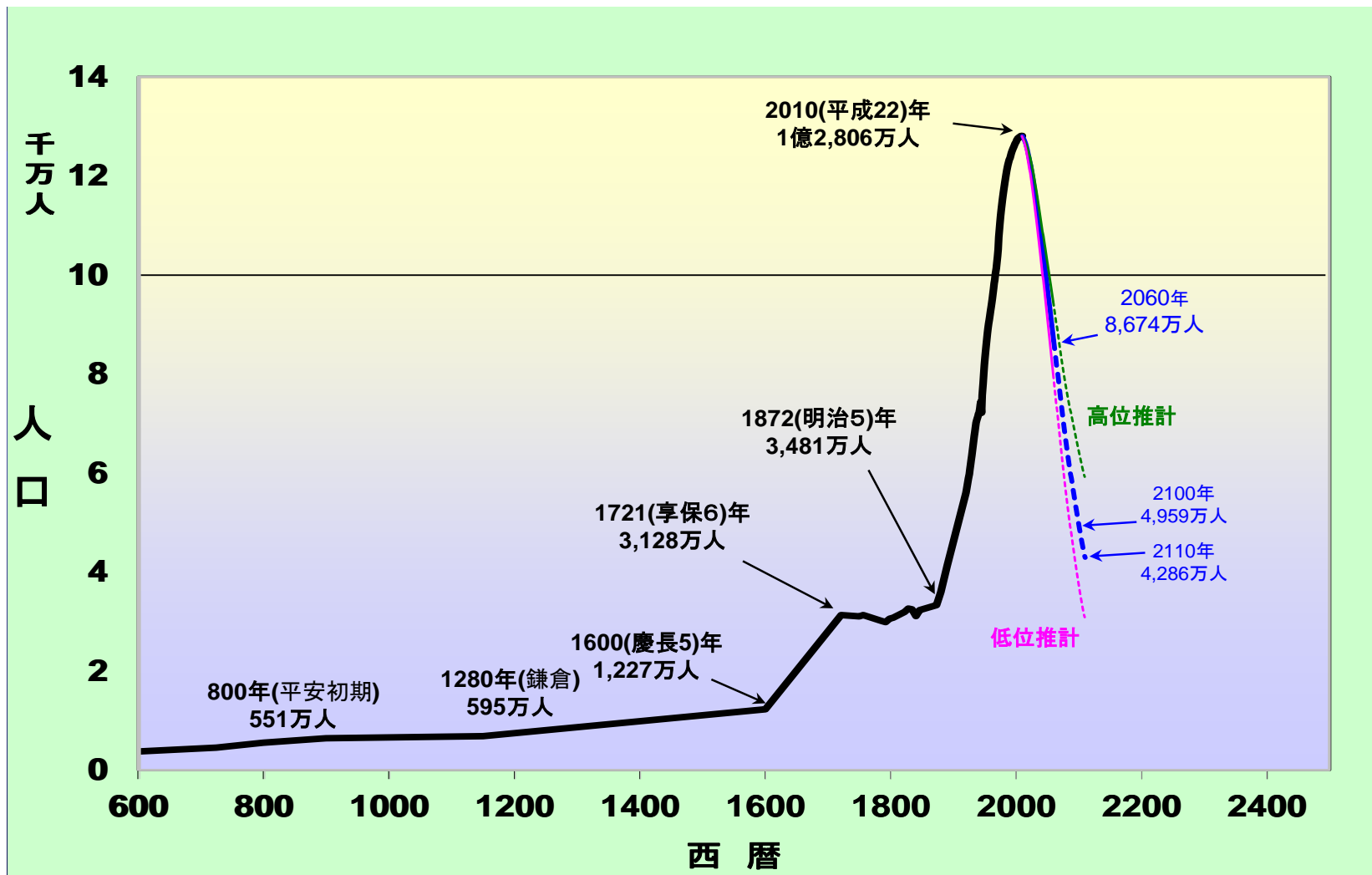
- I. 人口減少の現実——世界のフロントランナー
- II. 少子・高齢化と経済成長
- III. シルバー・デモクラシー

CIGS財政・社会保障シンポジウム
「財政破綻後～危機のシナリオ分析」
2017年12月8日
津田塾大学総合政策学部 教授
森田朗



1. 歷史的轉換期

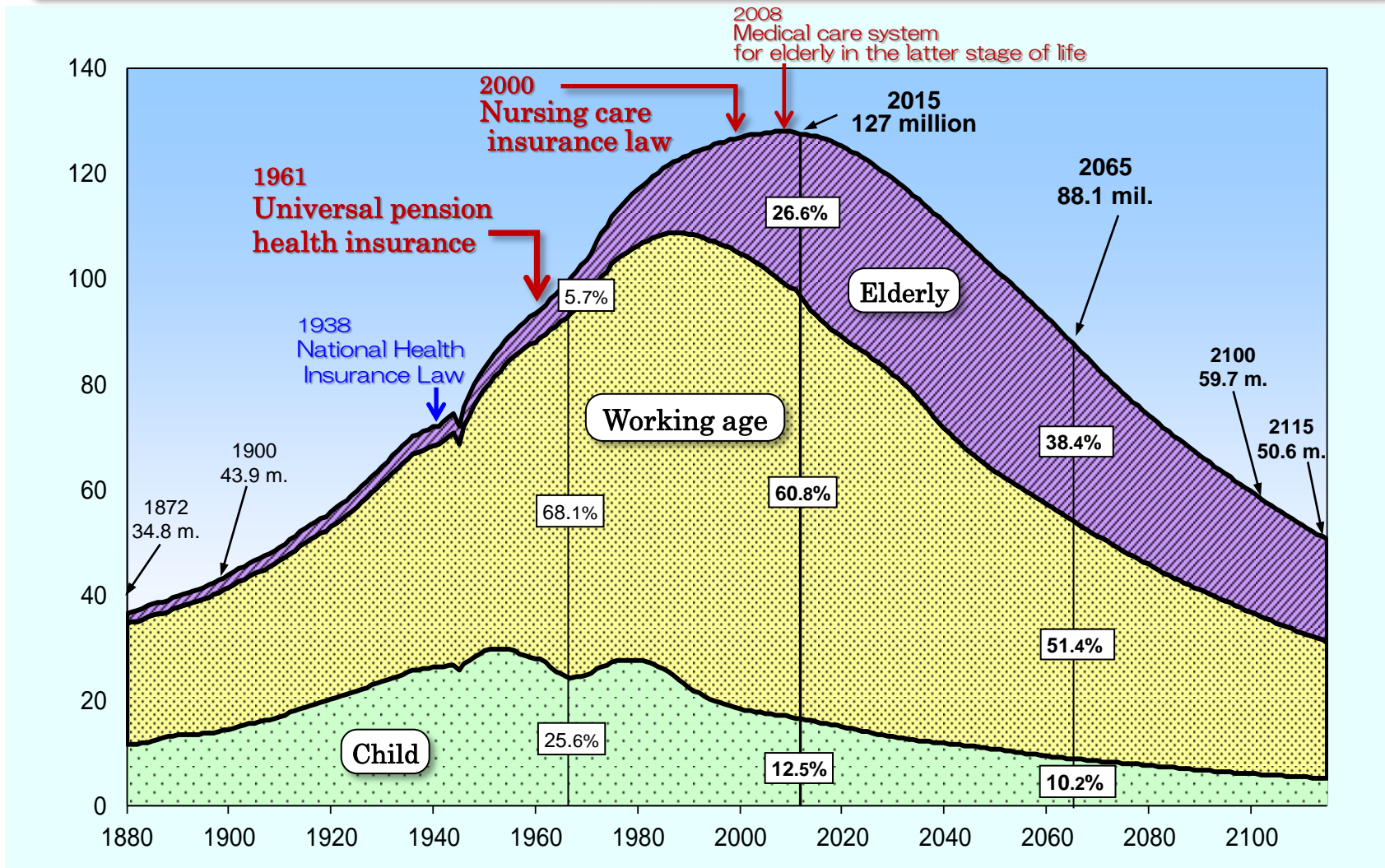
日本人口の歴史的推移



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」(1846年までは鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」、1847～1870年は森田優三「人口増加の分析」、1872～1919年は内閣統計局「明治五年以降我国の人口」、1920～2010年総務省統計局「国勢調査」推計人口) 2011～2110年国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計[死亡中位推計])

2. 少子高齢化・人口減少の現実

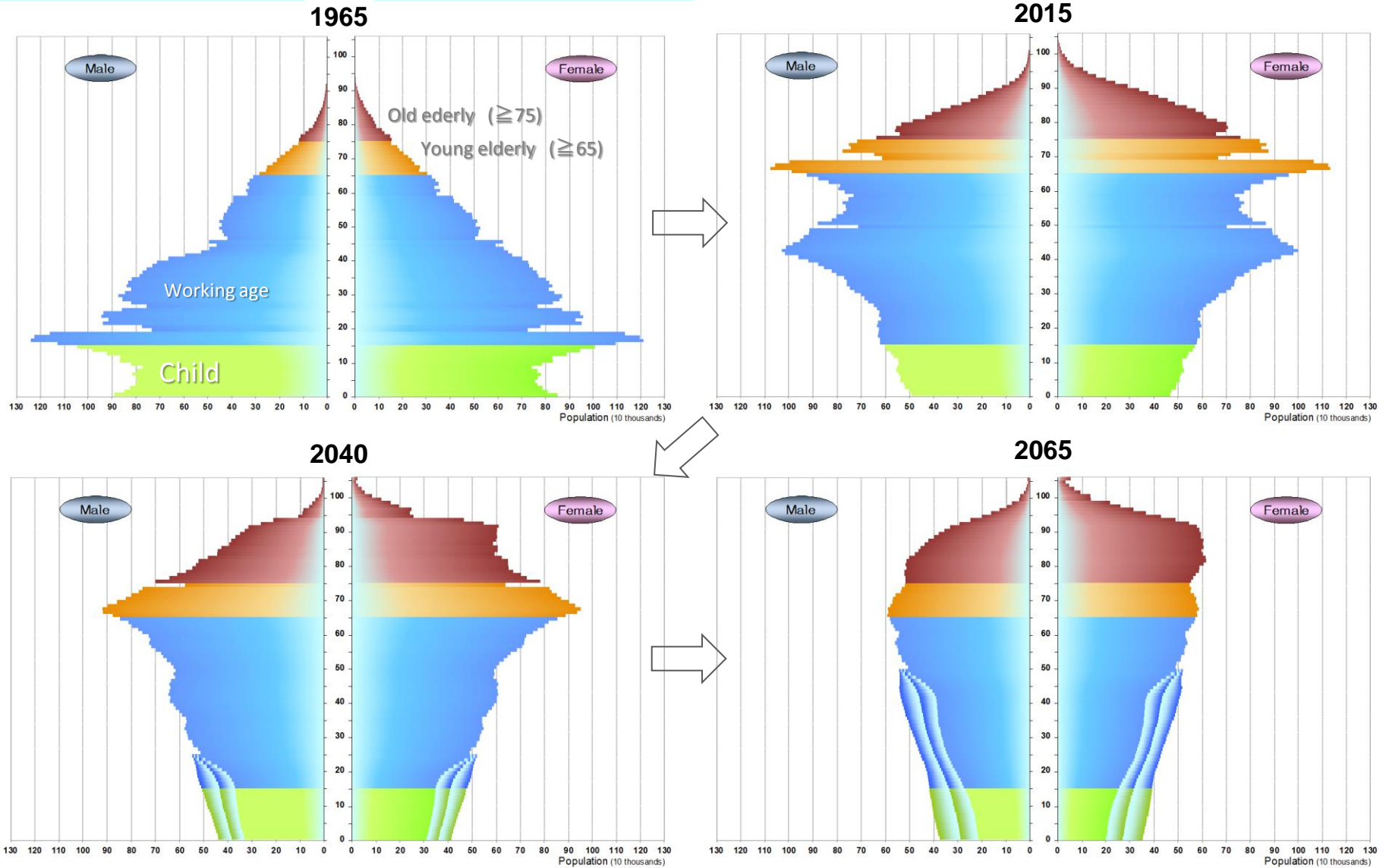
Trends of Japan's population and age structure: 1880 - 2110



Source: Ministry of Internal Affairs and Communications, Statistics Bureau, "Population Census," "Population Estimates", National Institute of Population and Social Security Research(2017), *Population Projection for Japan:2016-2065*.

Population "Pyramids" of Japan

Depopulation and aging

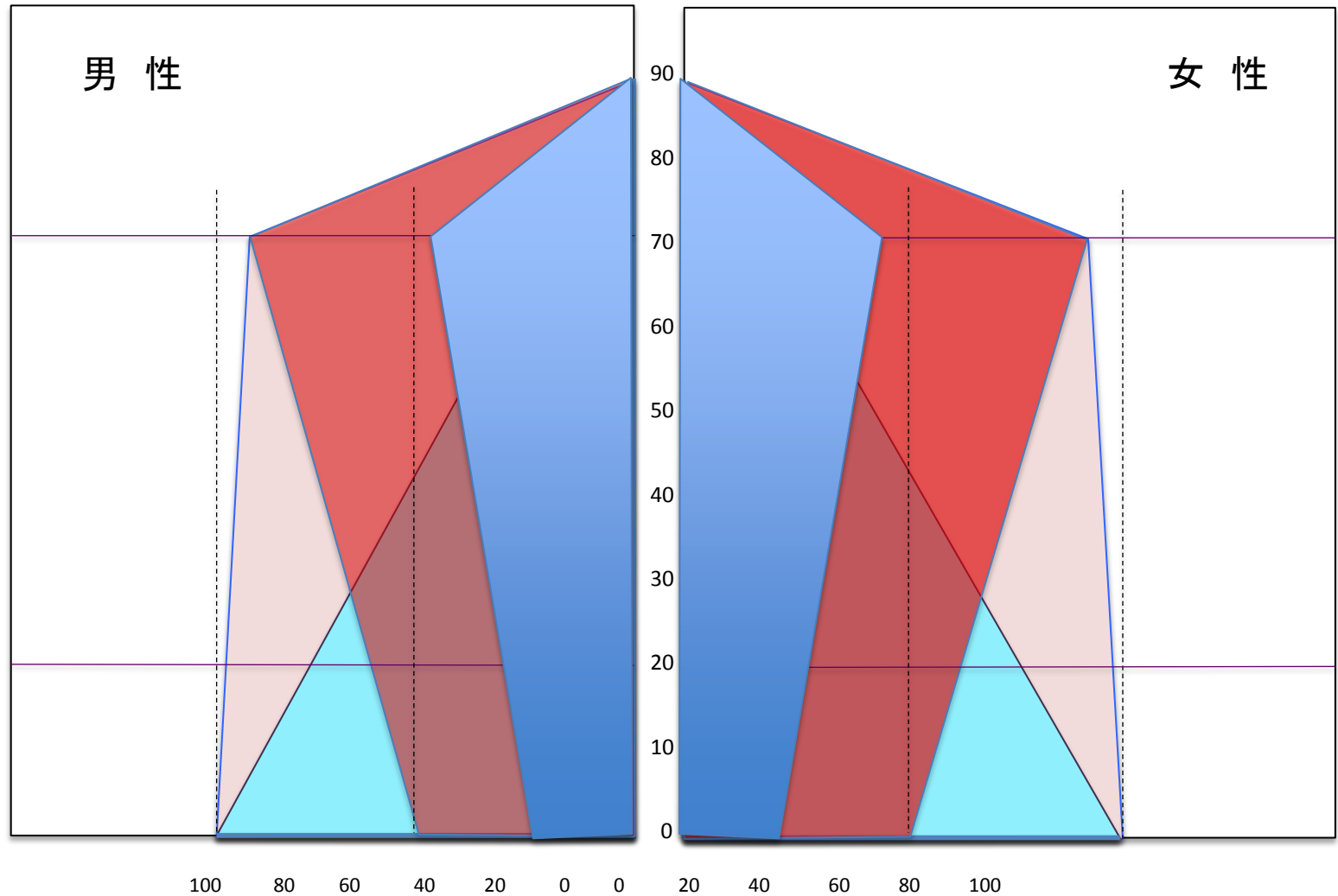


Source: Ministry of Internal Affairs and Communications, Statistics Bureau, "Population Census," "Population Estimates", National Institute of Population and Social Security Research(2017), *Population Projection for Japan:2016-2065*.

3. 人口減少のメカニズム

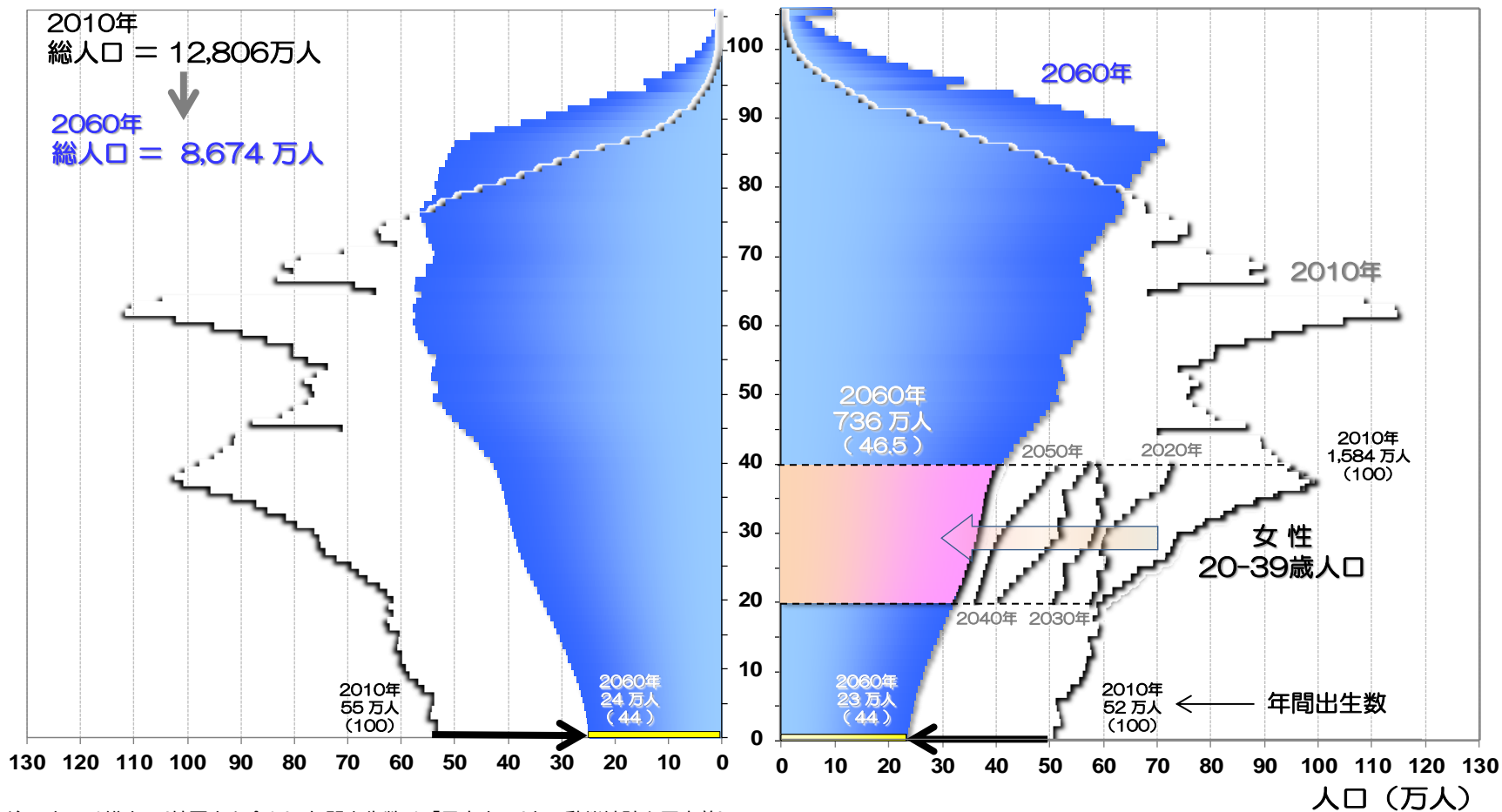
人口変化のメカニズム

ピラミッド ⇒ つり鐘型 ⇒ つぼ型



女性20~39歳人口の減少

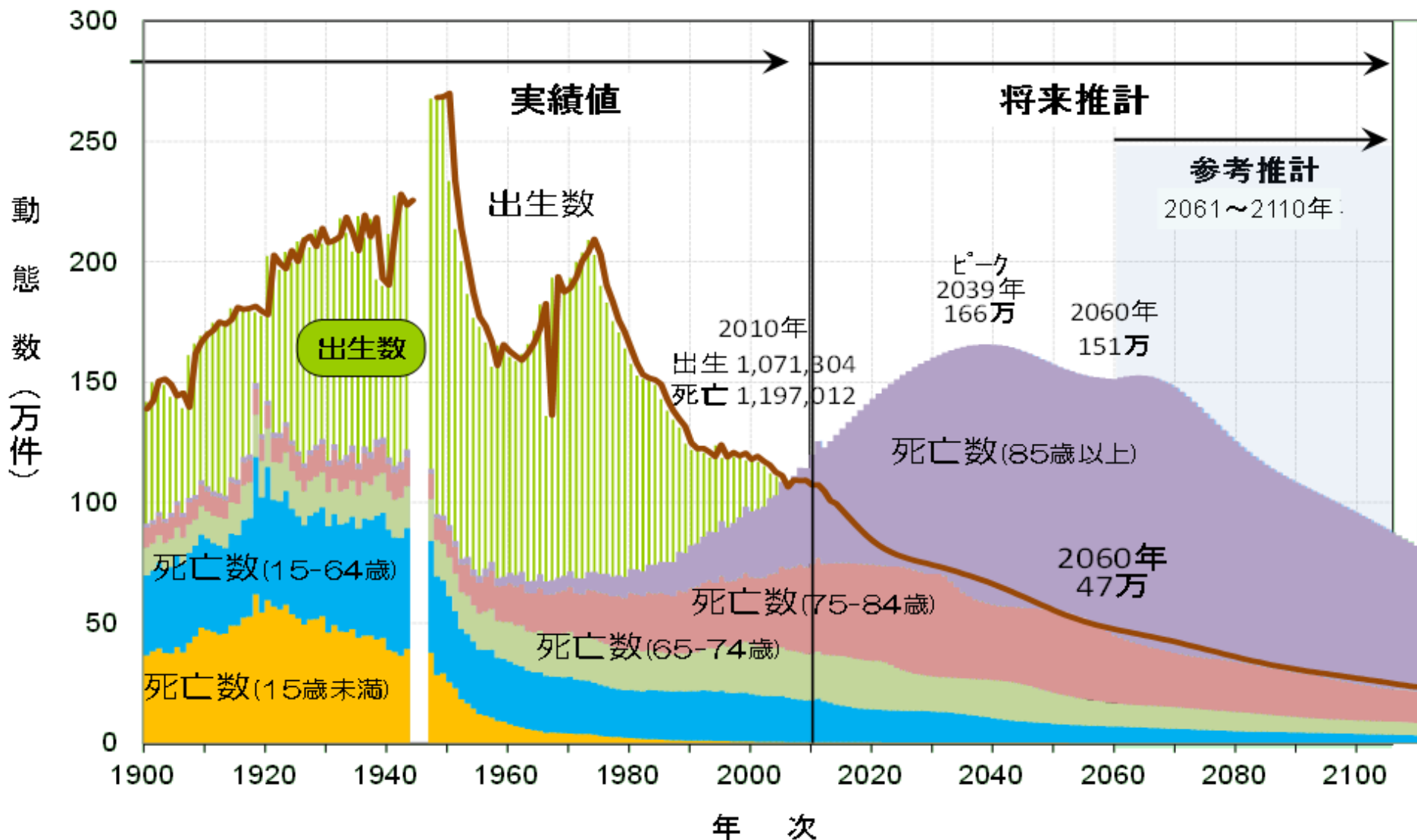
2010年 → 2060年



注：人口は総人口(外国人を含む)、年間出生数は「日本人」(人口動態統計と同定義)。

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計[出生中位・死亡中位推計])。

出生数と死亡数の推移：1900-2110年



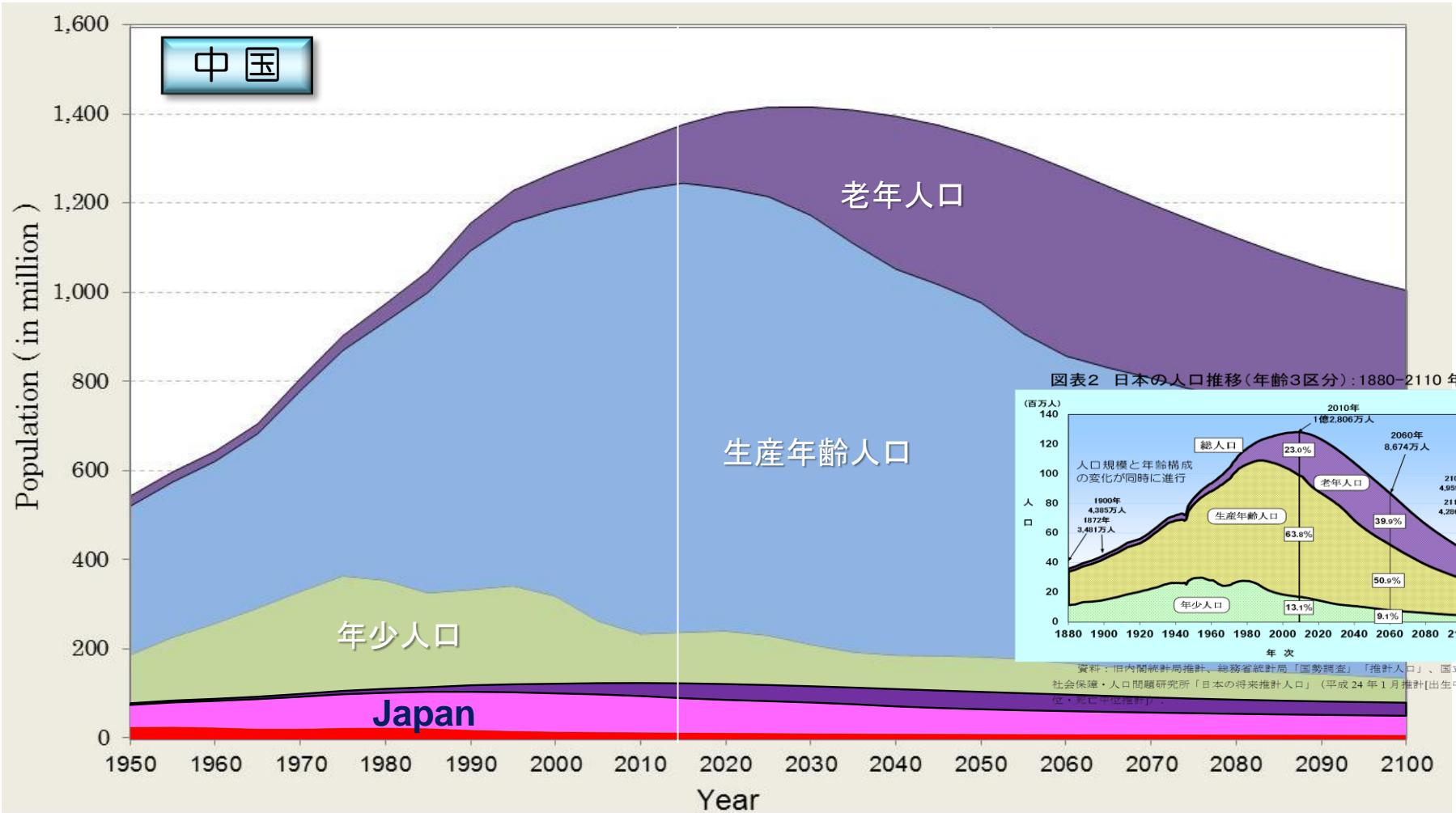
4. 世界のフロントランナーとしての日本

- 世界のトレンド

- ① 平均寿命と所得
- ② 合計特殊出生率と所得
- ③ 合計特殊出生率と平均寿命
- ④ 合計特殊出生率と乳幼児死亡率

[gapminder](https://gapminder.org/)

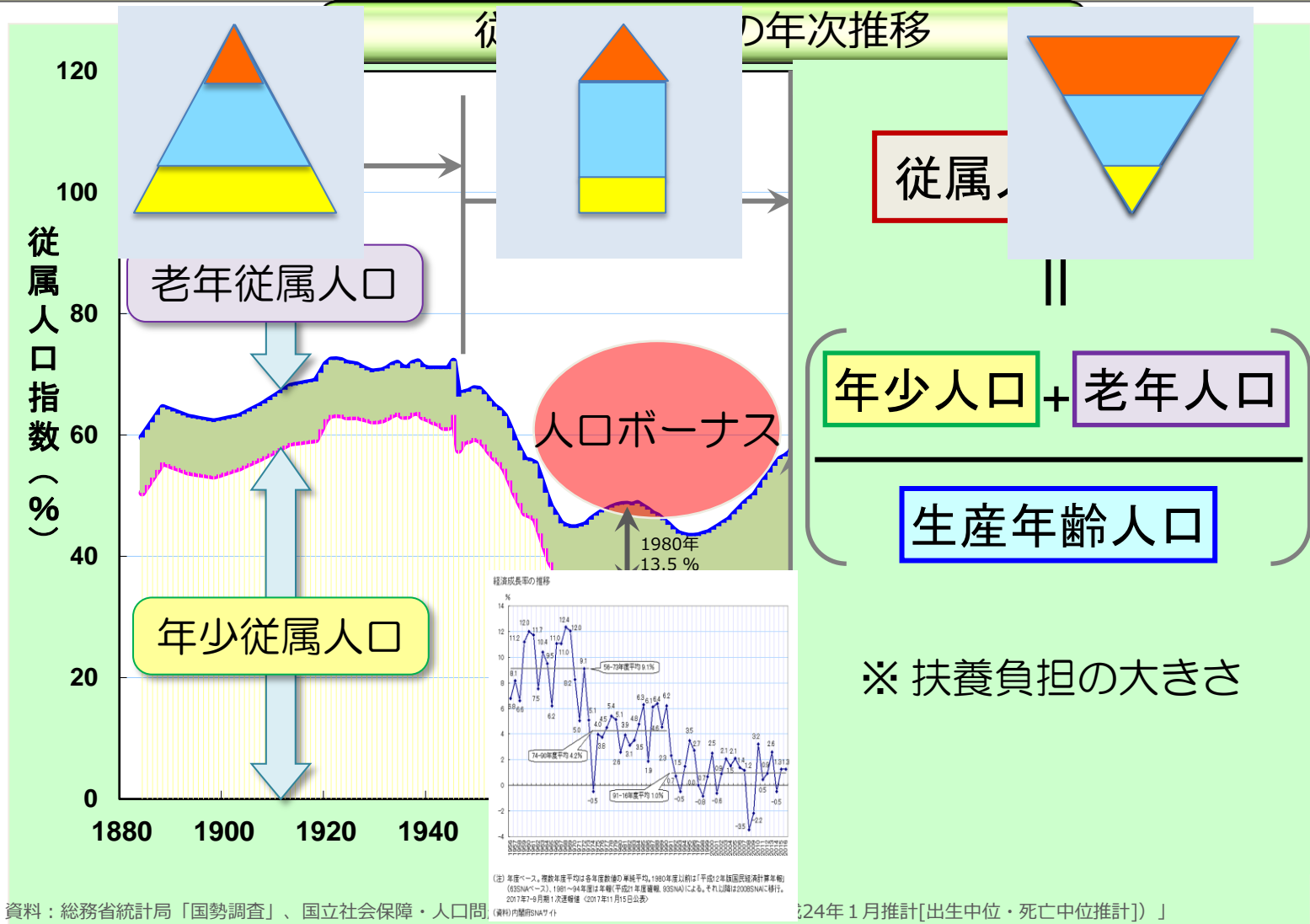
中国の年齢層別人口の推移：1950-2100年



Sources: United Nations (2015), *World Population Prospects: The 2014 Revision*. Statistics Bureau, *Census*, National Institute of Population and Social Security Research(2012), *Population Projection for Japan:2011-2060*.

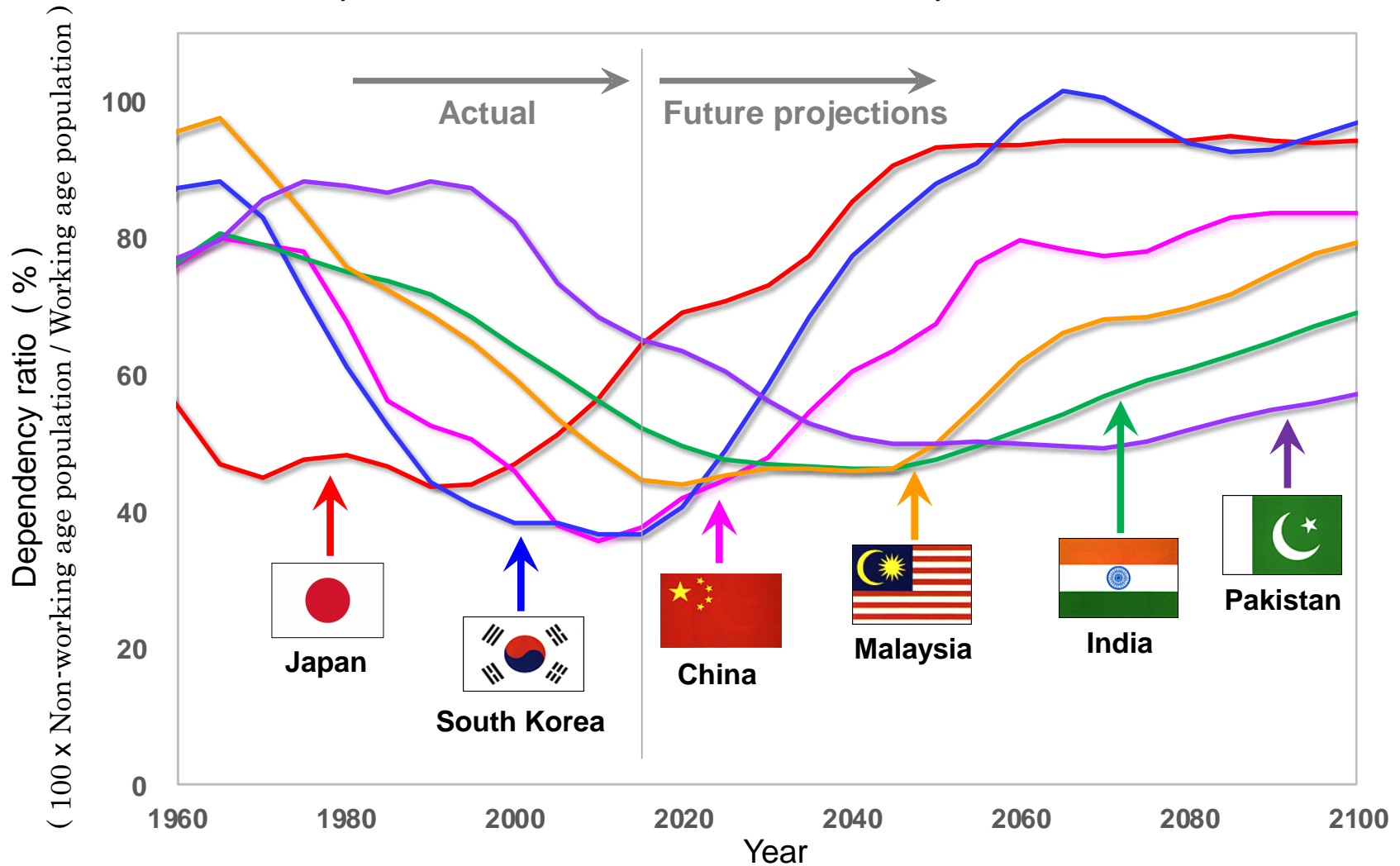
5. 人口ボーナスと経済成長

人口ボーナスと人口オーナス(産業化~21世紀)



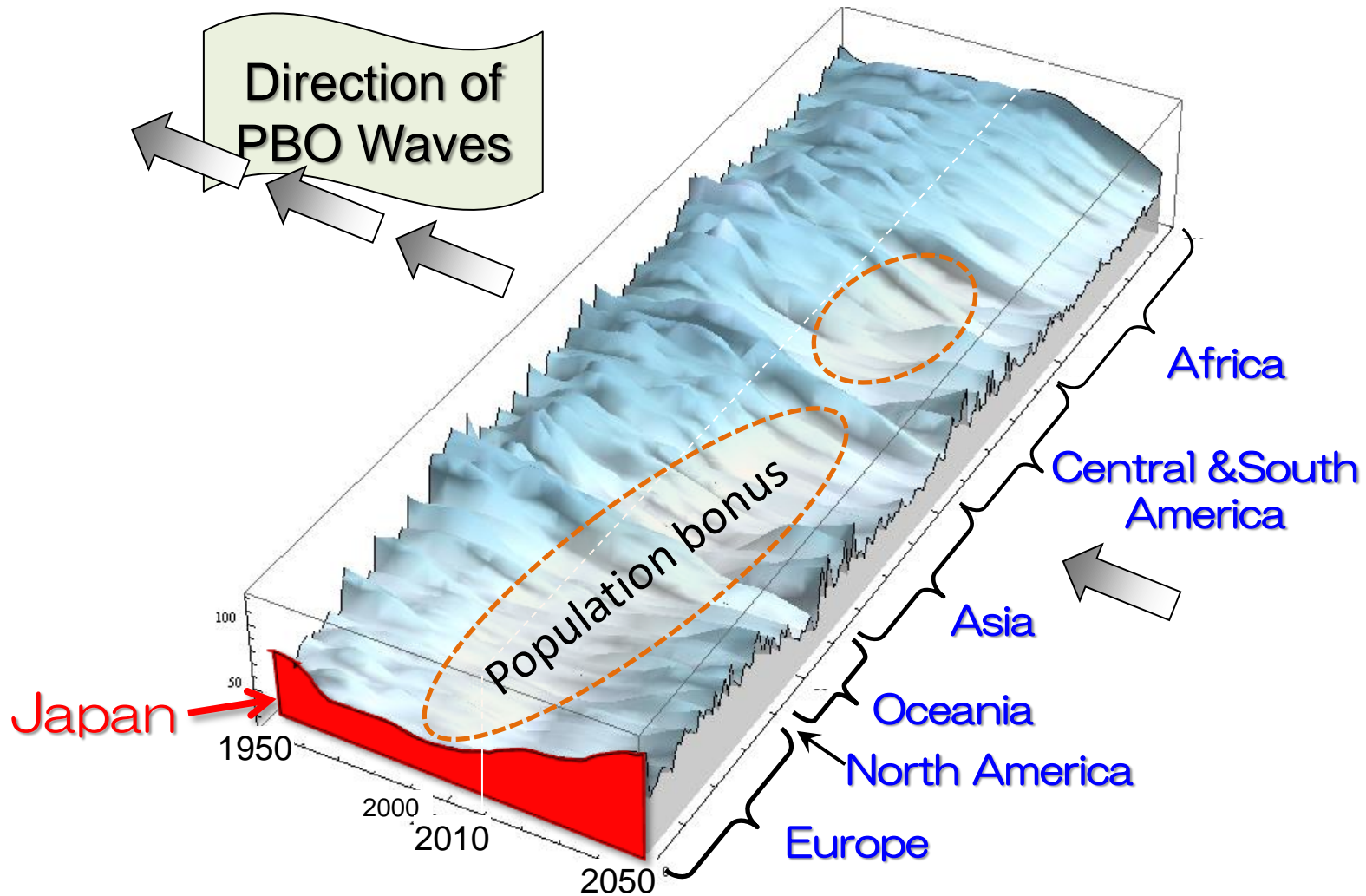
Comparison of population bonus and onus

— Japan vs. S. Korea, China, India, Malaysia and Pakistan



Source: United Nations (2011) *World Population Prospects: The 2017 Revision*. NIPSSR (2017), *Population Projection for Japan:2015-2065*.

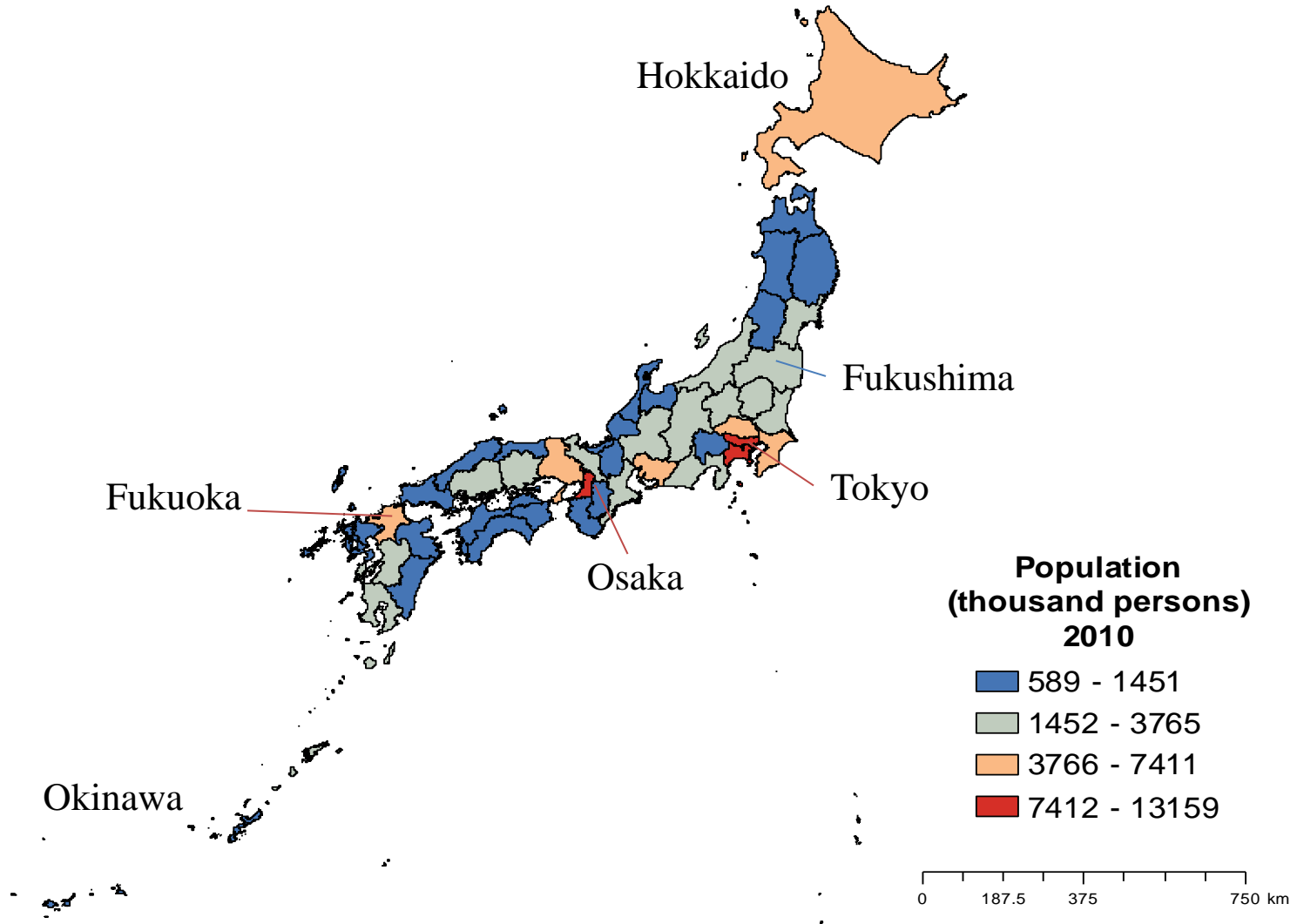
Waves of Population Bonus and Onus in the World



Source: United Nations (2009) *World Population Prospects: The 2008 Revision*. NIPSSR (2006), *Population Projection for Japan:2006-2055*

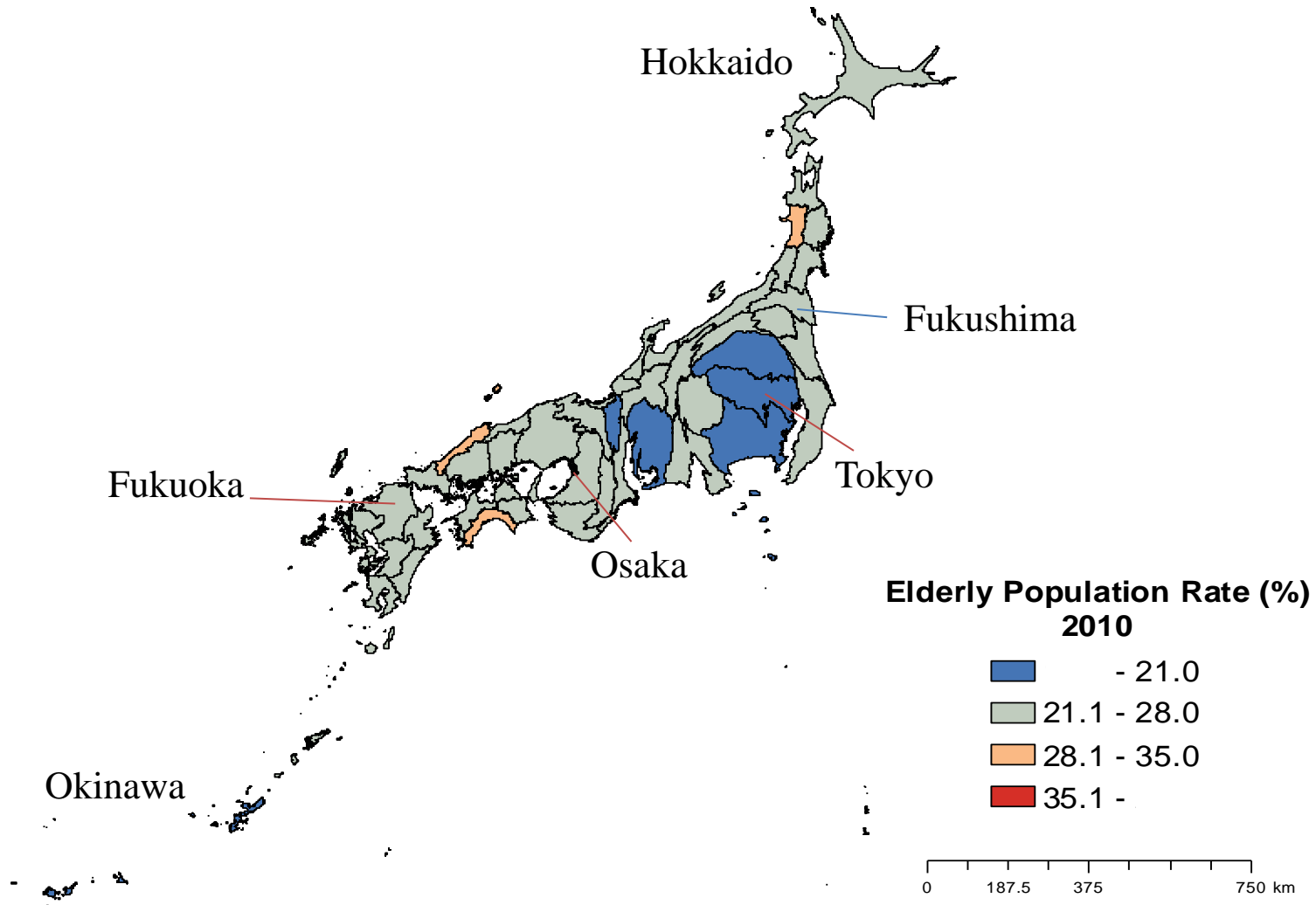
6. 都市と地方

2010



(source) Ministry of Internal Affairs and Communications(2010)*Census 2010*.

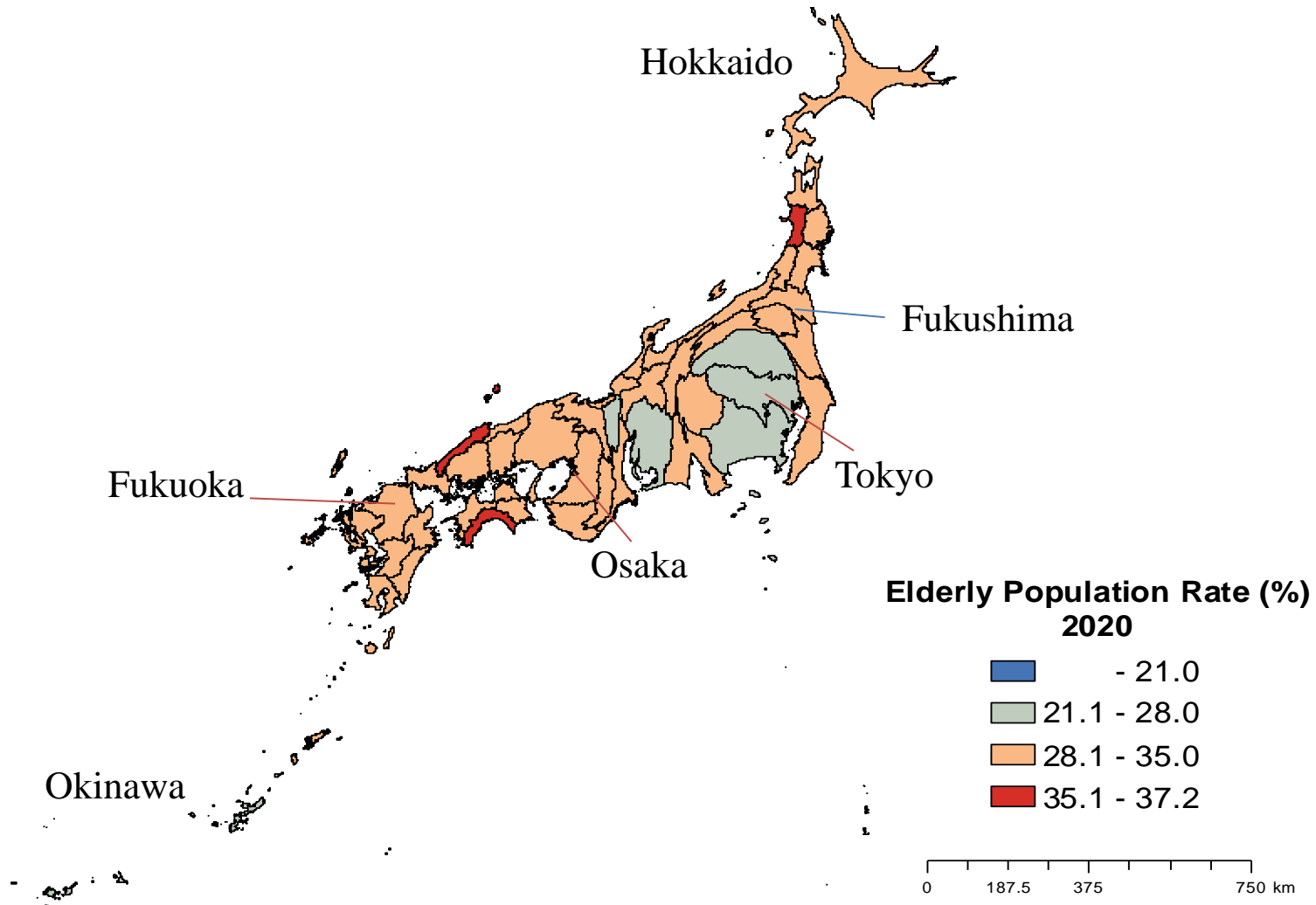
2010



(source) Ministry of Internal Affairs and Communications(2010)*Census 2010*.

*The Cartogram (based on Total Population 2010) is created using the Gastner-Newman method in ArcGIS

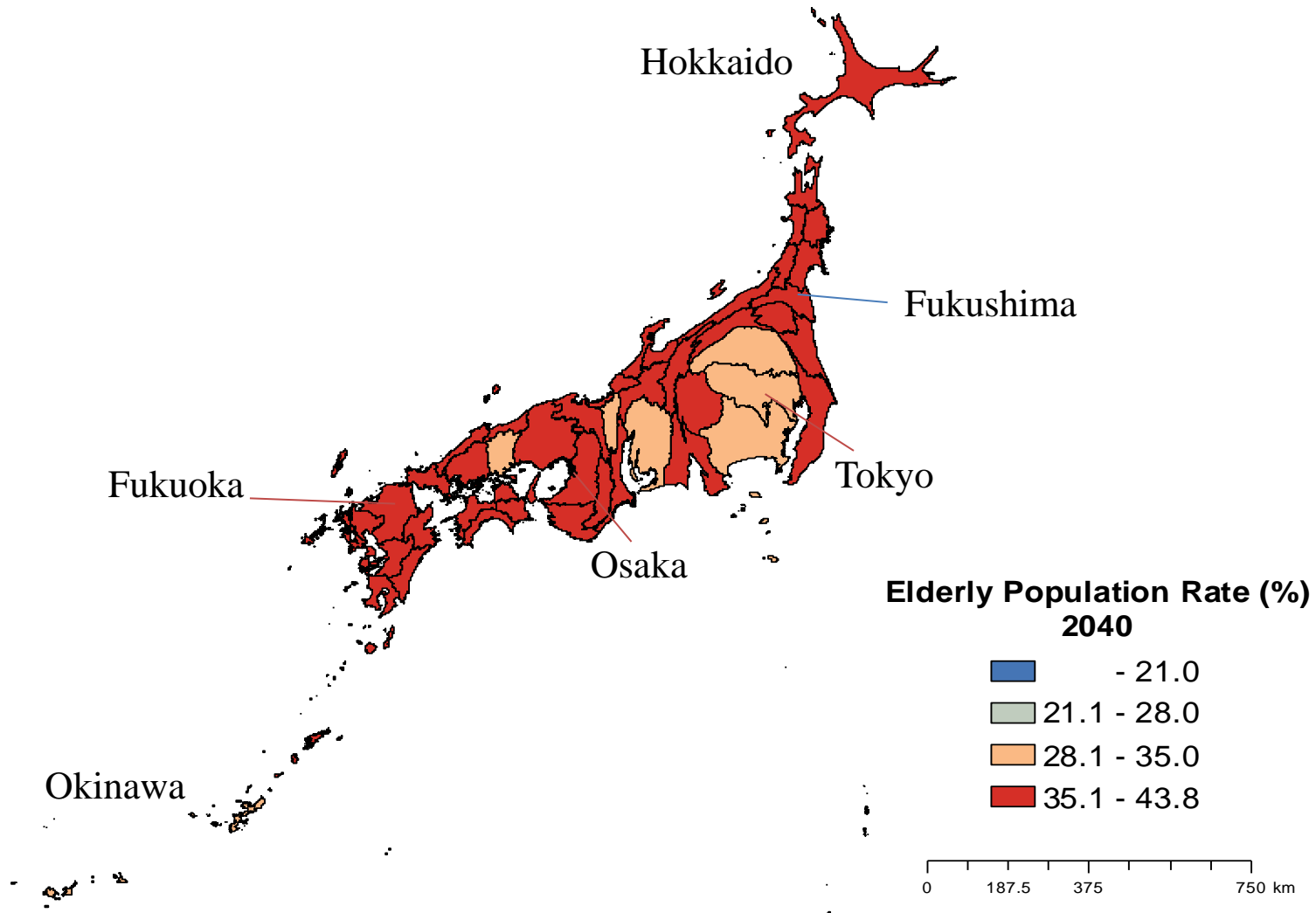
2020



(source) NIPSS(2013) *Regional Population Projections for Japan: 2010-2040*

*The Cartogram (based on Total Population 2020) is created using the Gastner-Newman method in ArcGIS

2040

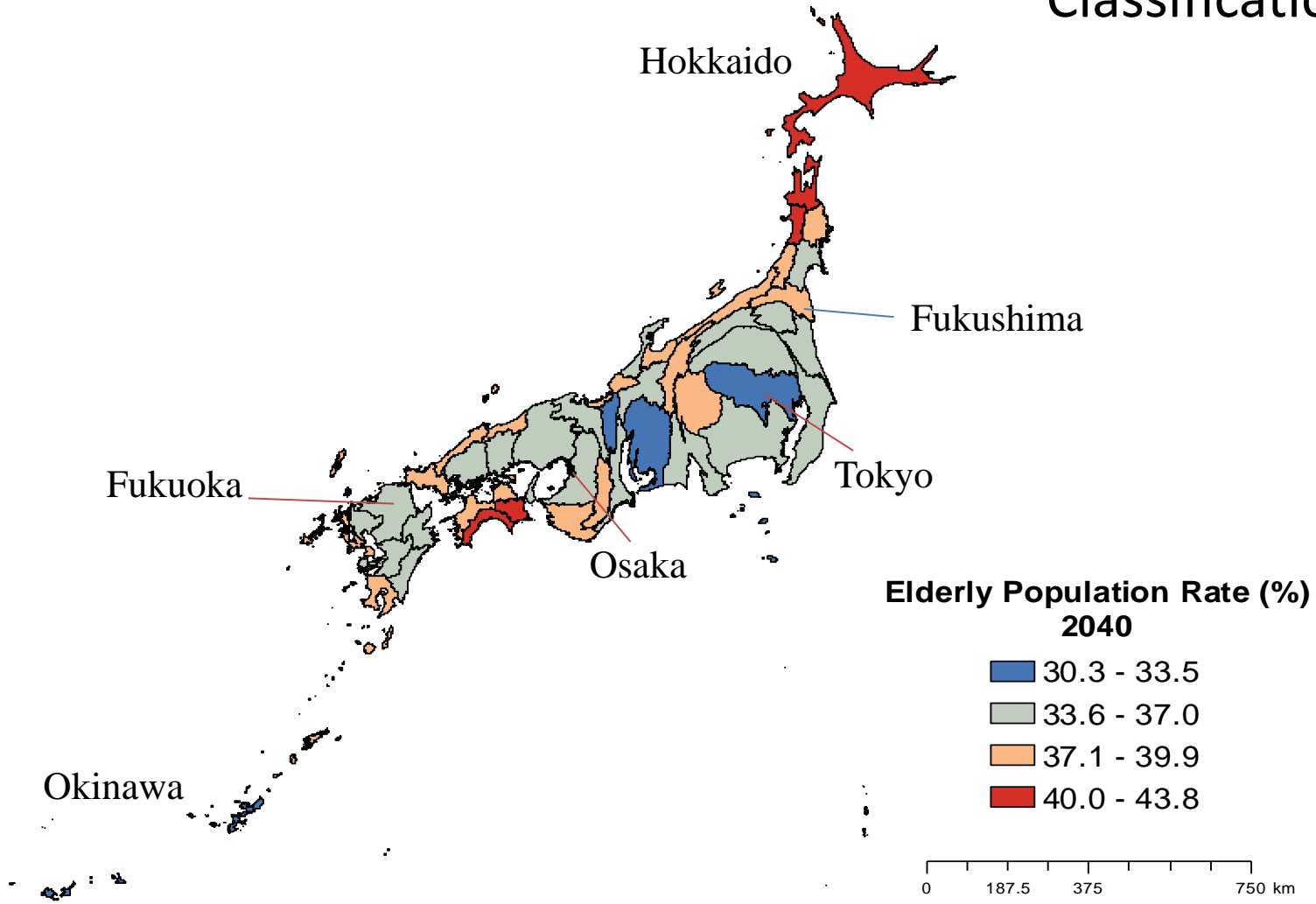


(source) NIPSS(2013) *Regional Population Projections for Japan: 2010-2040*

*The Cartogram (based on Total Population 2040) is created using the Gastner-Newman method in ArcGIS

2040

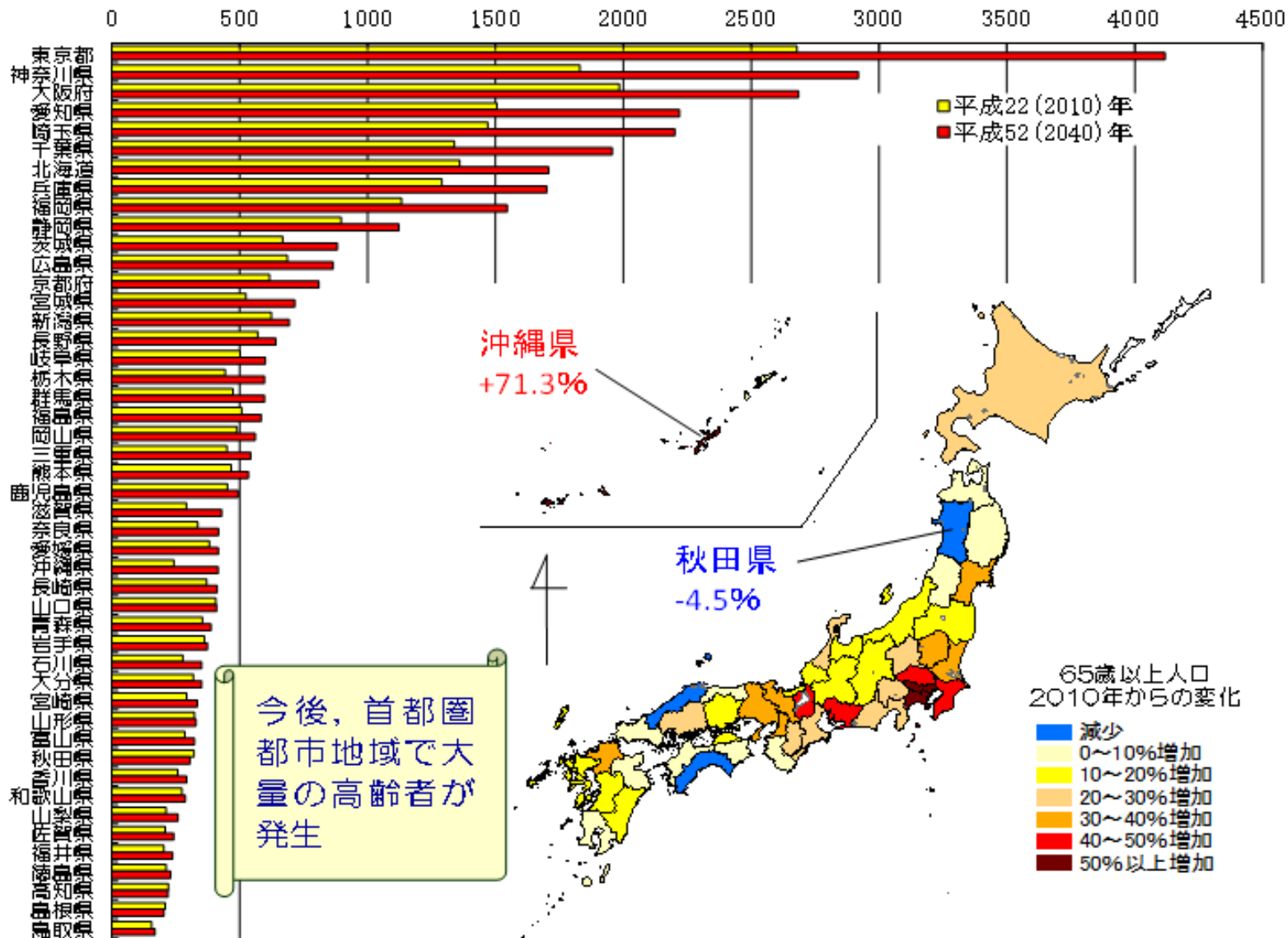
Jenk Classification



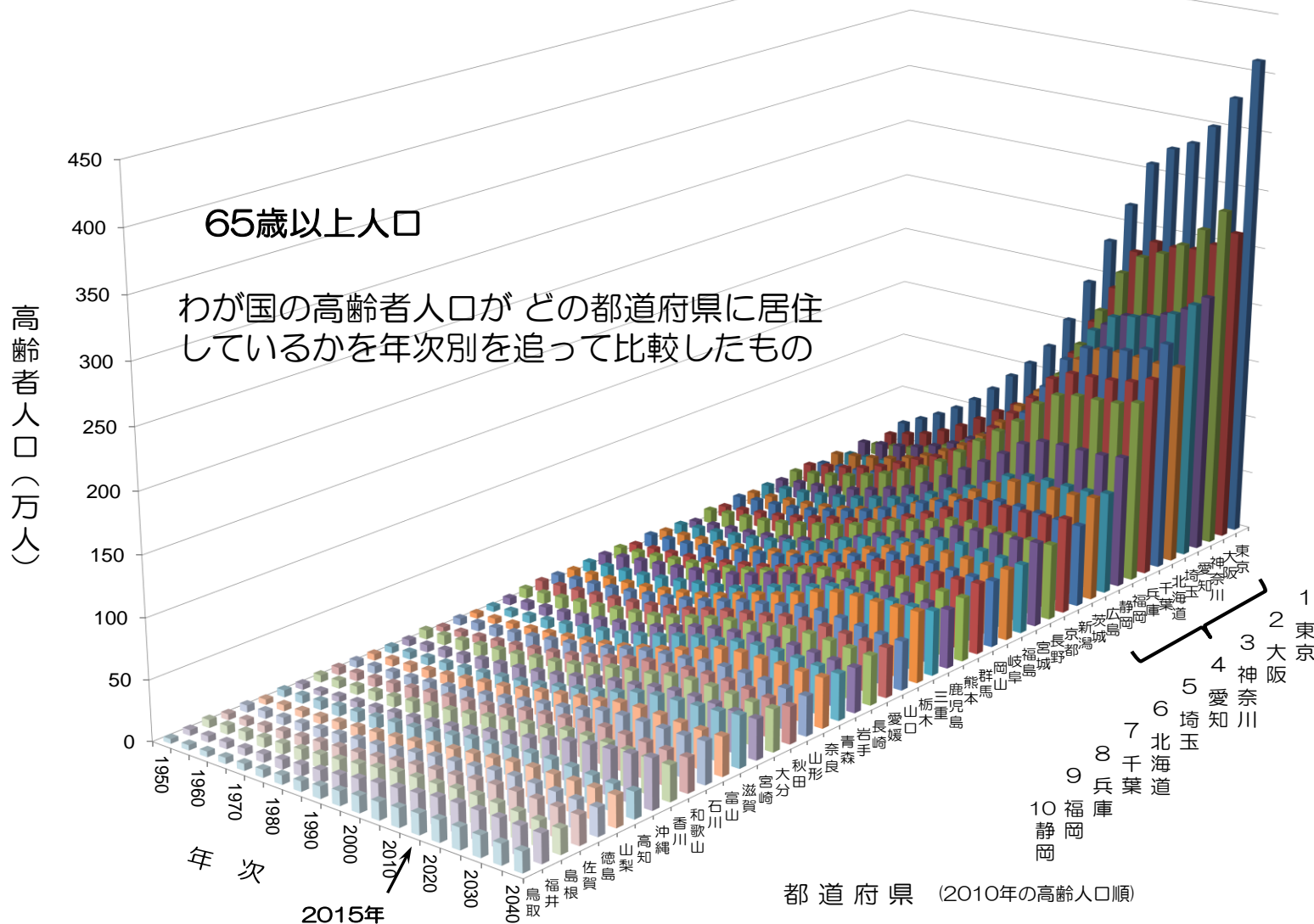
(source) NIPSS(2013) *Regional Population Projections for Japan: 2010-2040*

*The Cartogram (based on Total Population 2040) is created using the Gastner-Newman method in ArcGIS

都市部の高齢化（都道府県別65歳以上人口の変化）

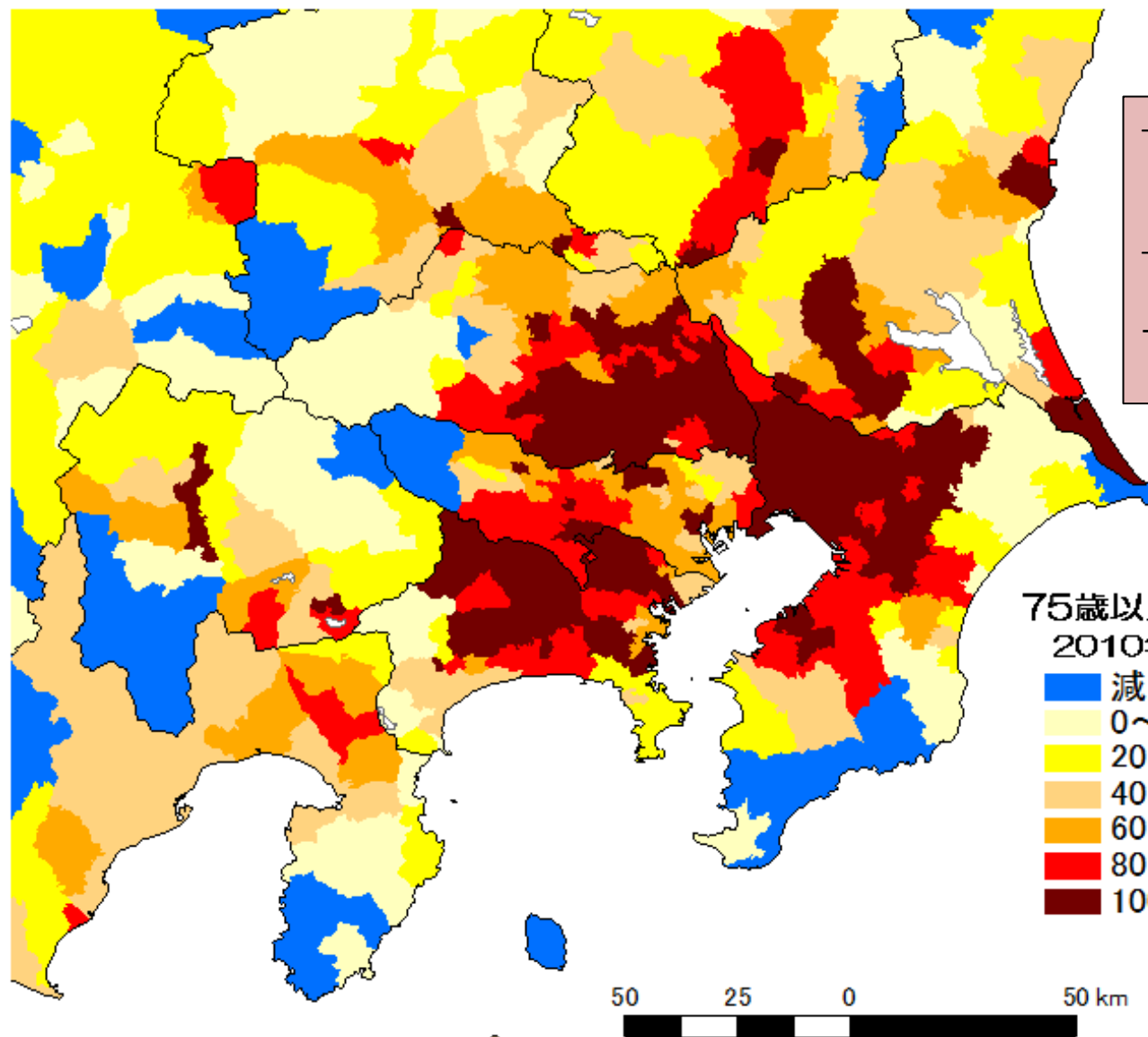


高齢者の都道府県分布の変化：1950年→2040年



資料：総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

首都圏の高齢化 (2040年75歳以上人口の増減率)

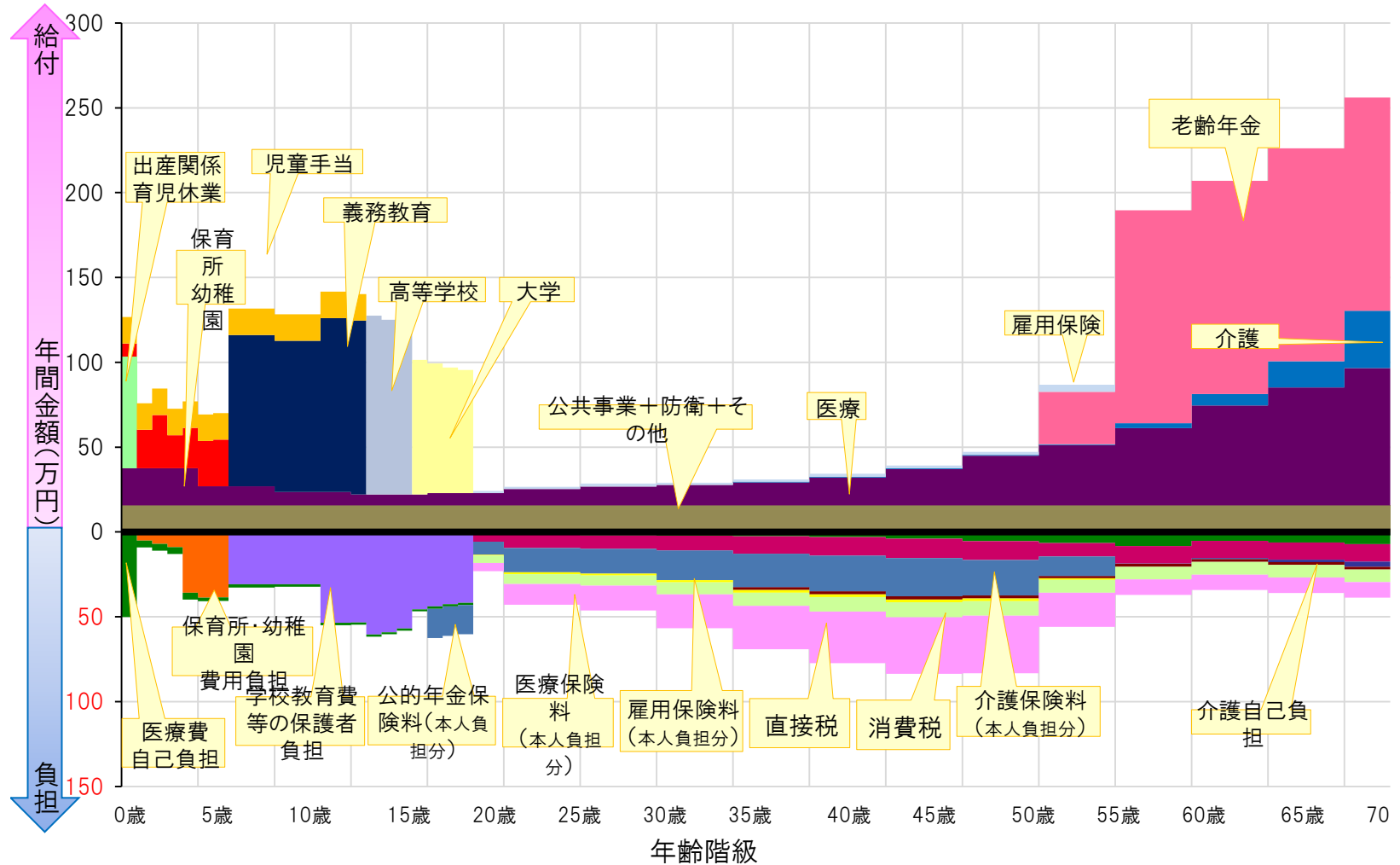


- これまでと異なる高齢化の規模と速度
- 都市型生活形態
- 不足する医療・介護施設・サービス

7. シルバー・デモクラシー

- ✓ 有権者の偏在——都市部の高齢者
- ✓ 投票行動の歪み——選挙制度のミスマッチ
- ✓ 政治的リーダーシップの限界——ポピュリズムと公益

ライフサイクルでみた社会保険及び保育・教育等サービスの給付と負担のイメージ



- (注) 1. 平成21年度(データがない場合は可能な限り直近)の実績をベースに1人当たりの額を計算している。具体的な計算方法は別紙のとおり。ただし、「公共事業+防衛+その他」については、平成22年度予算ベース。
2. 直接税及び消費税は、国税及び地方税の合計である。
3. 負担という観点からは、将来世代の負担として、公債金(平成22年度予算ベースで約44兆円、国民1人当たり約35万円)がある点についても留意が必要である。

意思決定構造の高齢化（1960～2060年）

年次		総人口中の 有権者割合	有権者人口（選挙年齢以上日本人）の年齢構成				
			有権者 「青年」率 (35歳未満)	有権者 「壮年」率 (35～64歳)	有権者 高齢化率 (65歳以上)	後期高齢率 (75歳以上)	
実績	1960年	旧 制度	59.7 %	42.9 %	47.5 %	9.6 %	2.9 %
	1990年		73.1	27.0	56.5	16.5	6.6
	2010年		81.0	20.9	50.8	28.3	13.6
将来推計	2016年	新 制度	81.7	18.5	48.0	33.5	16.5
	2030年		83.5	20.3	47.0	32.7	16.1
	2060年		85.1	18.5	44.7	36.8	22.8
			85.0	15.7	38.4	45.9	31.1

（注）有権者割合：総人口に占める規定年齢以上日本人人口の割合とその年齢層別構成比

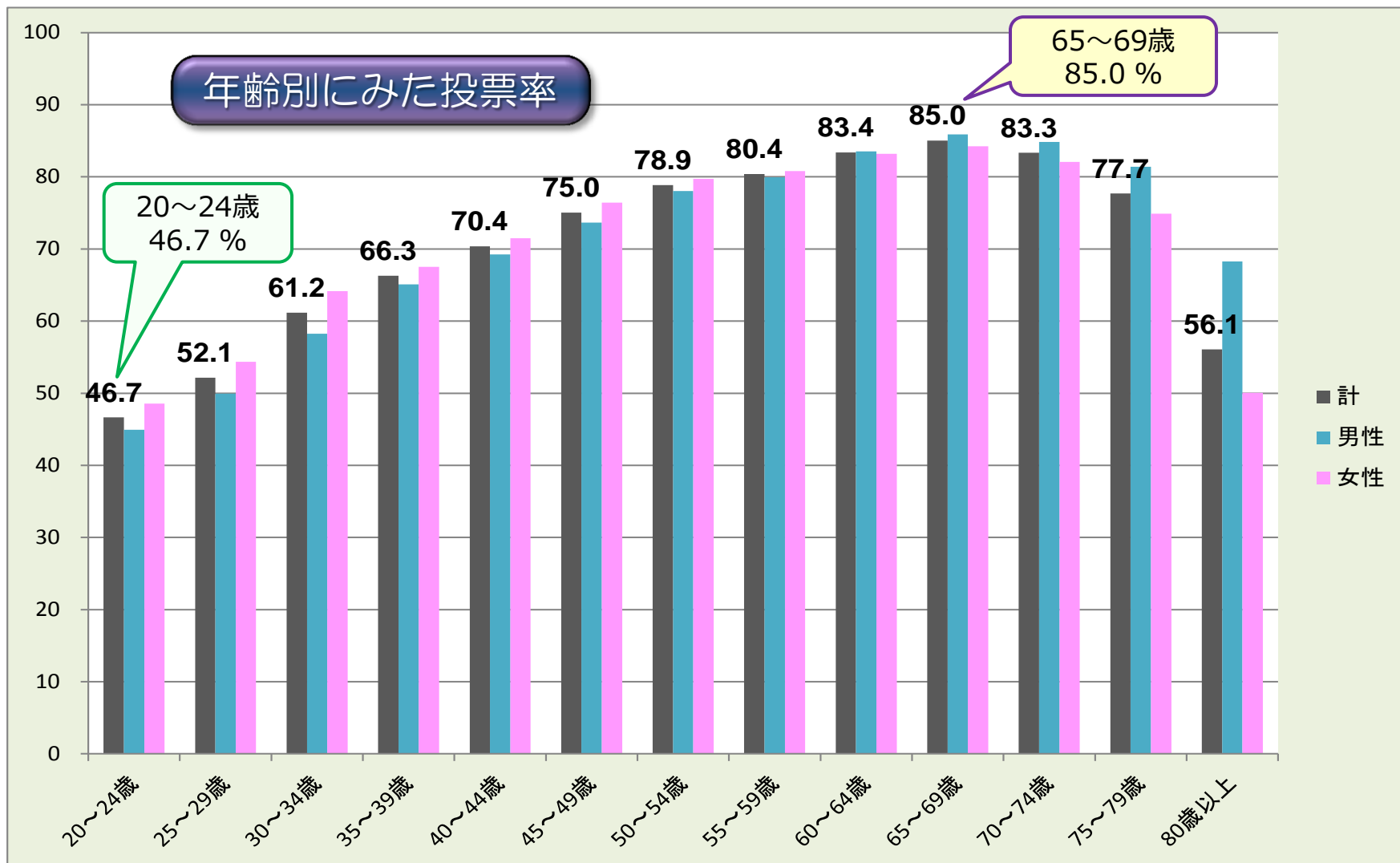
有権者「青年」率：有権者総数に占める35歳未満の有権者数の割合、有権者「壮年」率：有権者総数に占める35～64歳の有権者数の割合、

有権者高齢化率：有権者総数に占める65歳以上の有権者数の割合、有権者後期高齢率：有権者総数に占める75歳以上の有権者数の割合。

旧制度：各年10月1日20歳以上の日本人を有権者として計算、新制度：各年10月1日18歳以上の日本人を有権者として計算。

（資料）1955～2010年：総務省統計局「国勢調査」、2016～2060年：日本の将来推計人口（平成24年1月推計）[出生中位・死亡中位推計]より推計。

意思決定構造の高齢化：投票率



(注) 第45回衆議院議員総選挙(2009年8月)年齢別投票者数より

終

The End

ご静聴ありがとうございました

Thank you!